

厚別北

安心 安全が信頼に そして喜びへ

札幌市立厚別北小学校だより

令和8年(2026年)4月22日

NO. 593

令和8年度厚別北の教育 学校教育説明会【紙面開催】

日頃より、本校の教育活動に対して、御協力と御理解をいただきありがとうございます。

今年度は、学校の教育目標「思いを大切に、笑顔で挑戦するあつきたっ子」を目指した取組を行ってまいります。本号は、学校教育説明会（紙面開催）とし、今年度の教育活動の重点をお伝えします。

《重点目標》

思いを大切に 笑顔で挑戦する「あつきたっ子」の育成

～現在地を把握し、目標に向かって、適切なサポートを～

まなびを充実〈学ぶ力育成プログラム〉

【学びがいのある楽しい授業】

本校では、令和5年から7年までの3年間は「自ら挑戦し、共に学ぶ子ども」の姿を目指し、授業における課題設定と子ども同士の交流に重点をおくことを、子どもたちの学習や教師自身の指導力を高めることができました。その力を土台にし、今年度は学年・学級の「**子どもの実態（現在地）**」を教師が的確に把握して、その授業での**目標（目指す姿）**に向かって、**子どもに適切なサポートを行う**ことに重点をおいていきます。そして、これまで以上に「**個別最適な学び**」と「**協働的な学び**」を一体的に充実させ、学びがいのある楽しい授業作りをしていきます。



【自治的な活動を目指して】

今年度も、行事（運動会・学習発表会）や児童活動（委員会・クラブ）において、**子どもたちに「気づかせる・考えさせる・行動させる力」**を身につけられるように自治的な活動を推進していきます。

また、前年度に引き続き、ICT 機器の適切な活用を指導し、ネットトラブルを防ぐとともに、日頃の校内外生活での約束事を守り、すべての子どもたちが安心・安全に学べるように努めていきます。

【インクルーシブ教育の推進】

本校ではこれまで、5・6年生の外国語や理科の学習について専科教員が担当したり、3・4年生の外国語活動についてはALT による授業を取り入れたりしてきました。令和8年度からは、**通常の学級の担任がわかば学級で授業を行う**などの授業交換を積極的に取り入れ、教師の力量を高めるとともに、**特別支援教育を通じて、すべての子どもが同じ環境で共に学び、互いの個性を尊重し合うインクルーシブ教育を推進**していきます。



こころを充実〈豊かな心育成プログラム〉

【安心できる学級経営】

子どもたちが毎日、安心して楽しく学校に通うことができるように、子ども一人一人に担任教師をはじめ、学年教師が寄り添うことで、**学級が居場所となる学級づくり**を行っています。子どもたちを取り巻く環境では、適切な言語環境のもと指導していきます。

また、今後も札幌市全体で取り組んでいる「心の健康アプリ」シャボテンログを通して、**子どもたちの悩みや困りを早期に気づき対応を行っています**。素早いサポート体制を整えていきますが、校内でなかなか気持ちが落ち着かない場合は、ご家庭での気持ちの整理をすることも手立てと考えておりますので、体の不調時と同様、お迎えをお願いしています。御協力よろしくお願いいたします。



【多様性を認め、よい人間関係の構築】

子どもたちの個性を認め、多様性を大切にする学校運営に努めてまいります。子どもたちの**自尊感情を醸成**するために、毎日の学級・学年での生活、行事における取組を通して、**自己肯定感の高まり、社会性を育てていきます**。

◆児童活動の時間に、2学年合同のペア活動に取り組むことによって、上の学年がリーダー性を発揮したり、下の学年と協力して活動したりしていきます。他者との関わり合いを大切にしながら、相手意識をもち、よい人間関係を構築していきます。

◆本校では特別の教科「**道徳**」を継続して充実させていきます。学習や生活における様々な場面との関連性を大切にしていきます。また、運動会や学習発表会などの学校行事や「**命を大切にする月間**」「**悩みやいじめに関するアンケート**」などを関連付けることで、効果的に学習を進めていきます。

からだを充実〈健やかな体育成プログラム〉

【健康に関する指導の充実】

各教科の学習と関連を図りながら、食の大切の指導や性指導を行い、子どもたちの**健康安全教育の推進に努めてまいります**。今年度も、給食親学校の厚別通小学校の栄養教諭による食育の授業を実施する予定です。

先日、すでに第1回目の避難訓練が終了しました。第1回目は避難経路を確認する訓練でした。訓練の事前・事後指導をしっかりと行うことで、子どもたちに**命を守る大切さを伝えていきます**。



【運動習慣の習得】

本校では中休みに「**全員外遊び**」を推奨してきています。外遊びは、子どもたちの身体的、精神的、社会的な成長に不可欠なものです。また体力の向上や次の授業への集中力につながります。

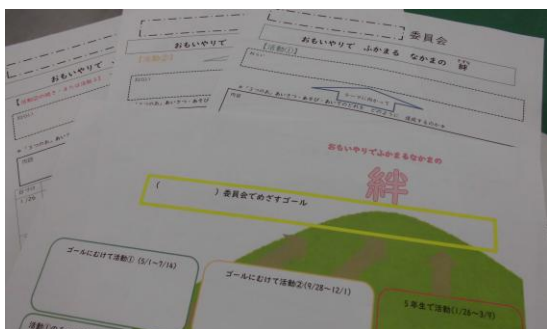
また体育科の授業に合わせて「**跳び箱週間**」「**マット週間**」を設定します。この期間は子どもたちが積極的に体育館に行き、**自分の技能を高められるように場の設定**を行います。

例年行っているスポーツテストを実施したあとは、キャリアパスポートに記録を残していきます。記録を残すことで、自分の成長を感じることができ、意欲的に取り組むことができます。

全体に関わって

【すべての学年で学級編制】

札幌市は学校教育の基盤として、「人間尊重の教育」を位置付けています。そのためには「多様性」を認め合うとともに、「相互承認」の感度を高めることが必要とされています。そこで、新しい人との出会いの中でさまざまな刺激を受け、より大きく成長していくことを期待して、この春から**毎年すべての学年で学級編制を行う**ことにしています。



【委員会・クラブは火曜日に実施】

前年度までは委員会・クラブは木曜日に設定されていましたが、**今年度からは火曜日に実施いたします**。委員会・クラブの時間は45分と設定し、下校時刻を15:10といたします。なお、**委員会・クラブの設定されていない週の火曜日は全学年5時間授業となります**。それに伴って、2年生の6時間授業は木曜日に設定いたします。

【学力テストは12月に実施】

前年度までは学力テストを4月に実施していました。**今年度より学力テストは12月に実施し**、4月から11月までの習熟度を測ることとしました。これにより、当該学年のうちに学習の習熟度を把握し、御家庭に次につながる学習の仕方をお伝えすることができます。

【その他】

◆幼保小事業・小中一貫した教育の取組

今年度も札幌あおば幼稚園、厚別もえぎ保育園と連携をはかり、運動会の総練習や学習発表会の児童公開日に**園児を招待していきます**。また、小中一貫した教育の取組として、パートナー校の厚別北中学校と厚別通小学校と作成したグランドデザイン(目指す子ども像、地域の願い、推進計画、具体的な取組)の実現に向けて連携を深め、15歳の姿を思い浮かべながら**幼保小中の学びが連続していく取組を推進していきます**。

◆マイブックタイムの継続

前年度より、朝の10分間に「マイブックタイム」の時間を確保し、子どもたちが本の世界に触れる時間を設定しています。御家庭でお子さんの興味・関心に応じて本の準備をお願いします。

◆家庭での学習について

札幌市では、「子ども一人一人の主体性を大切にした多様な学び」や「さっぽろっ子学びのススメ『まほうのかいわ』で習慣づくりを大切にしていますので、本校でも家庭での学習については、**各家庭で取り組んでいただくことを推奨しています**。学習については、学校との情報共有(テストや学習ノート、ワークシート等)を基にしながら、お子さんと相談して進めてください。基本的に、学習物の学校への提出は行わないこととしています。普段の授業の中で、子どもたちには「学び方」の指導も行っていますので、家庭での学習では、ぜひこの「学び方」を生かし、**子ども自身が自分に合った学習に取り組む力**を育てていただきたいと考えています。(低学年につきましては、学習習慣の定着を図るために、音読カードやプリントなど共通の課題を出すことがあります。)

◆子どもの育ちを伝える取組について

《学習参観懇談・地域公開日》年に4回実施いたします。

《前期・後期個人懇談》4月と10月に実施いたします。

《個人診断票、通知表配付》**通知表は年間1回(2月配付)**となっています。前期の頑張りや後期に向けての課題については、後期個人懇談の際に各単元テストの点数(客観的データを観点別に到達率グラフやレーダーチャートで表したものを)を個人診断票を利用してお伝えします。わかば学級については、個別の指導計画と合わせて、頑張りや課題をお伝えします。なお、**今後はお子さんの学校での様子は、個人懇談、日頃のお電話、キャリアパスポートの振り返りなどでお伝えしていきます**。

令和8年度も全職員の力を合わせて、教育活動には取り組んでまいりますので、本校の教育活動に御理解と御協力をよろしくお願いいたします。